

さらなる躍進のために

理事長 浅原 正三

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も変わらせずよろしくお願い申し上げます。

さて、一年の計は元旦にありと申しまして、早々とご計画をたてられた方もおられるかと思いますが、何はともあれ、今年も健康が第一と考えますので、皆さんともども健康に留意して実りある年にしていきたいと考えます。

アルファグリーンネットは、今年結成 4 年目を迎えます。さらなるステップアップの予感がしますので、今一度原点に立ち返り、会員一人ひとりがベクトルを合わせて進んでいくため、次のような活動をしていただきたいと思います。

AGN は、会員一人ひとりの意識や行動の多様性を認知しておりますが、組織としての評価を受けるためには、これだけの活動だけでは低いといえます。評価を高めるためには、ひとかたまりになった活動が重要であります。一人ひとりがバラバラな活動をするよりもチームとしての活動をする方がより目立つし、高い評価をされると思います。

チームとして活動するためにどうすれば良いのかはご存知のことと思いますが、我々の組織は、兵庫県下に現在 54 の支部があります。この支部は市・区・町にあって、行政とつながっており、連携やその結果の評価が受けやすい形態になっております。活動に当たっては、この支部を単位としたチームを主体にした活動を行っていただきたいと思います。

54 の支部の内、非常に活発に活動している支部とあまり活動していない支部の二極化現象が見られます。活発に活動している支部は、活動の喜び・楽しさがわかっておりますから、放っておいてもさらに活性化すると思われます。一方あまり活動していない支部にあっては、活動の喜びや楽しみ、活動の方法がわからないし、メンバーの求心力も低いので恐らく急に活動が活性化することなどあり得ないと考えます。このままの状態では、先行している支部



にますます水をあけられ、会員もその支部もそして待望されている行政も困るのではないのでしょうか。

AGN の評価（成果）を高めるためには、この支部組織の活性化こそが喫緊の課題といえますので、自分の属している支部は今どのような状態にあるのか自己診断をしてみてください。その結果に基づき対応策を所属会員全員でご検討いただきたいと思います。

組織の活性化は一足飛びにできるものではありません。一人でも二人でも会員が集まって打合せを行い、それを定例化させることが重要で、一人増え二人増えしてメンバーを増やし、話し合いを続けることが原点ではないかと考えます。

構成人員の多い支部にあっては、ベクトルを合わせるのは、人数の少ない支部に比べれば困難性が高いかもしれません。しかし 10 人十色も 3 人よれば文殊の知恵と申しますとおり、一人ひとりの協力するという意志があれば、そんなに難しいものではないと考えます。諦めないで、あくまでベストをつくり、先ず支部を形成してほしいと思います。

我々を取り巻く情勢は、薄雲が一枚いちまい剥がれるが如く、明るい展望が開けてきております。会員の實力発揮の場、社会貢献の場、成果を上げる場が無いことは、大変淋しいことと思います。今年こそ 54 支部が揃って雄叫びを上げる年にしたいと考えますので頑張ってください。

李 樹華 先生の花ものがたり VOL. 5 中国古代文人の花友と花客

中国古代の文人、特に宋代（960～1279）の文人らは花を愛して、数多くの花の色や形や香りや産地など性格によって色々な友達やお客様として扱ってきました。



宋代の曾端伯（ソウタンハク）が選んだ花の中の十友は次の通りです。ランは芳友、ウメは清友、ジンチョウゲは殊友、ハスは浄友、ブドウは禅友、ロウバイは奇友、キクは佳友、キンモクセイは仙友、カイドウは名友、トキンイバラは韻友です。また、ロウバイ、ブドウ、ランは入ってなくて、マツリカは雅友、シャクヤクは艶友、クチナシは禅友であるという説もあります。

同じく張敏叔は十二種類の花をお客さんとして扱ってきました。ボタンは賞客、ウメは清客、キクは寿客、ジンチョウゲは佳客、ライラックは素客、ランは幽客、ハスは静客、トキンイバラは雅客、キンモクセイは仙客、バラは野客、マツリカは遠客、シャクヤクは近客です。

さらに、『三柳軒雜識』という書物には、各時代の花の友と客を集大成して、以下の五十種類の花客が記述されています。ボタンは貴客、ウメは清客、ランは幽客、モモは天客、アンズは艶客、ハスは浄客、キンモクセイは岩客、カイドウは蜀客、ツツジは山客、ナシは淡客、ジンチョウゲは閨客、フヨウは酔客、キクは寿客、トキンイバラは才客、ロウバイは寒客、カラタチバナは仙客、ソケイは韻客、ライラックは情客、ヒマワリは忠客、カラタネオガタマは佞（賢い）客、ポプラは強客、ハマナスは刺客、ゲッケイジュは癡客、ムクゲは時客、ザクロは村客、ヒルガオは田客、チョウセンアサガオは悪客、アマナは窮客、ホクシマメナシ（野生ナシの一種）は鬼客、ヤマブキは俗客です。そして、シャクヤクは嬌客、ホウセンカは羽客、サルスベリは詞客、スイセンは雅客、ツツジは仙客、カンゾウは歡客、カラタチバナは雋（優れた）客、クチナシは禅客、リンゴは 客、ハイノキは幽客、センダンノキは晩客、セキショウは隠客、ビワは（遠い）客、アジサイは弔客、マツリカは狎客、山ユリは豪客、ヒシは水客、スモモは俗客、ノゼンカツラは勢客、オウバイは潜客です。



皆さん、貴方の好きな花はどんな花ですか。これらの花は貴方にとってどんな友でしょうか。

新入会員紹介

柳口重明	〒678-0165 赤穂市木津 1016-2	T/F 0791-48-7568
田中隆夫	〒675-1334 小野市大島町 800	T/F 07946-62-4860

そ の 他

廣井眞智子、神澤豊子さんより AGN にご寄付を頂きました。
どうもありがとうございました。

編集後記

皆様どんなお正月を過ごされましたか？ 今回の AGN ニュースはたくさんお知らせがありますので、みなさんの参加申込みをお待ちしております。

会員報告

高砂市県住米田団地前フラワーロード植栽の実施報告

高砂支部 高田 弘毅

12月22日第1回植栽会は、雨天を覚悟しておりましたが幸い晴天に恵まれ、235㎡のコミュニティガーデンに、地域住民を中心に約40名の参加を得て無事終わることが出来ました。街と緑の調査を始めた日からちょうど1年ぶりの同じ日に地域住民と一緒に活動です。

参加していただいた方々は高齢者が多く「腰が痛い！」と言いながら、多くのジョークを飛ばしあい、楽しい植栽会を持つことが出来ました。草花も我々が用意した他に、ゼラニウム、さくら草、ジャーマンアイリスなど大切に育てたものをプランター毎たくさん持参していただきました。そのため当初予定していた本数をはるかにオーバーして全体で約2500本の草花を植えることができました。見違えるようになった花壇を見て「ほんとに良かったな！」と言い合い、景観園芸の素晴らしさを体験した1日でした。地元ケーブルテレビ局のBan-Banテレビの取材も12月23・28日に放映されました。

情報ネット“ビデンス”「第2回自然観察会」

ガーデナーコース3期A 辰巳 禎男

11月9日(土)午前9時30分はまだ小雨混じりの中でしたが、新神戸駅からひとまず布引の滝を目指して出発しました。一行は増田先生、森田先生をはじめ16名。和気あいあいの中にも観察意欲十分のメンバーでした。布引の滝へ登るまでにはさいわい雨も上がり、あとは貯水池、紅葉茶屋、市ヶ原、高雄山を經由して出発点に戻るまで行程は約10キロ、6時間。その間、話題には幸い雨も上がり、後は貯水池、紅葉茶屋、市ヶ原、高雄山を經由して出発点に戻るまで行程は約10キロ、6時間。その間、話題に上った植物の数は優に100を超えたと思われます。この日は参加者それぞれが身近な六甲の秋を満喫しながら、貴重な景観やいつまでも残すべき自然環境をじっくり自分の目で確かめることができた一日でした。この日の観察から得た知識はもとより、自然を見つめ自然と接する姿勢が今後も、各自の地域での活動の中で活かされていくことが期待されます。なお、この後有志で相楽園で開催中の「みんなでつくろう・淡路瓦・光の相楽園」を見学、見事にライトアップされた労作を鑑賞しました。

西淡町商工会女性会員に

AGN 理事出前寄せ植え講座

12月9日AGN理事柳瀬泉さんの指導の下、稲垣、武田、平井、安尾理事がアシスタントとして、西淡町商工会議所で80鉢のクリスマス・正月向けの華やかな寄せ植え講座を行いました。参加者は50人ほどで夜の7時から9時までの2時間、熱気ムンムンの中での作業です。過去最高の参加人数で、柳瀬さんの流石はプロと思わせる講習に参加した人々は大いに満足して、一人でいくつも持って帰りました。一泊を要した出前講座でしたが、西淡町の方々との交流、理事同士の交流も図れ、こういう交流が定例化できればいいなあと思った一日でした。

花ひょうごの会に参加して

ガーデナーコース2期B 金子 庸子

淡路夢舞台の国際会議場で11月26日11時より、花ひょうごの会(花ひょうごは花博の後、花とみどりのまちづくりを目指して、前知事の貝原俊民氏に提案してできた会)の総会が行われました。32名の出席で小泉美喜子会長の司会の下、会が進められました。

これからの活動についての提案としては、ネットワーク化することが大切、来春の春に県公館や県庁周辺でイベントを行う、県に提案する会にしたいなどです。県土整備部(都市政策担当)課長、淡路の永田県会議員より期待と励ましの言葉をいただきました。幹事として林まゆみ先生、安尾昌子さんも出席されました。

午後からは会場を奇跡の星の植物館に移し、花博事業協会の挨拶に続き、奇跡の星の植物館プロデューサー辻本智子さんより植物館のコンセプト、大阪ベイエリアの再生と創造、花と緑の情報発信、地域性を保ちながら緑の街並みを考えるなどのお話がありました。その後ガーデンコンペ会場の白髪アンナさん(ガーデナーコース修了生)や峰松裕子さん(専門課程学生)のプロムナードガーデンと植物館の見学をしました。百段苑では兵庫県に1本しかない木立ダリヤが咲いていました。ピンクの色の花がきれいでした。

三宮からバスで移動しましたが、淡路島でインドネシアの白いランを会員の協力でたくさん育てて交流したいと希望している人や、休耕田を一人で花いっぱいに行っている人などの活動報告があり、みなさんのパワーに感動した一日でした。

AGN理事になってみませんか？あるいは推薦していただませんか？

現理事の任期が3月までにつき、改選が行われます。それにともない、理事の立候補と推薦を募集しますので、ふるって応募してください。

資格 : AGN会員

応募期間 : 1月中旬から2月28日(金)

応募方法 : 所定の書面にて必要事項を記入の上、FAX・郵送で応募してください。

アルファメイトの募集について

アルファメイトは学校キャンパス公開事業の一環として、景観園芸学校を訪れた方々に学校の素晴らしさをPR・案内する仕事です。

1. 勤務条件

午前10時～午後5時迄

3人一組で行動する

勤務日: 水、土、日、及び祝日とする

但し、勤務日・組み編成についてはAGNに一任させていただきます

2. 勤務場所

淡路景観園芸学校キャンパス内

3. 募集期限 15年2月28日まで

4. 応募方法 AGN事務所までFAX又は郵送でお申し込みください

(アルファメイト希望と明記のこと)

5. 期 間: 1年間

6. 謝 礼: 1日 2,500円

7. 説明会 15年3月28日頃開催いたします

「淡路花祭 2003」の園芸教室及び園芸相談講師募集

(財)花博記念事業協会主催の「淡路花祭2003」が3月21日から5月25日にかけて、夢舞台、国営明石海峡公園、県立淡路島公園、あわじ花さじき、淡路景観園芸学校などを会場として開催されます。

淡路景観園芸学校では、園芸教室及び園芸相談の実施をAGNに要請されております。日頃の腕の見せ所ですので積極的に応募ください。なお、園芸教室の内容は自由です。

・場所: 淡路景観園芸学校東側作業室

・日時: 3月21日(金)、30日(日) / 4月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日) / 5月3日(土)、11日(日)、18日(日)、25日(日)

* 園芸教室

14時から2時間程度、各日1名

謝礼は10,000円程度、材料代2,000円程度は参加者と学校で負担しますが、材料の準備は講師の方でお願いします。

内容(例): 寄せ植え、こけ玉、蔓編み、染色、フラワーアレンジメント、押花、木工など

* 園芸相談

10:00～15:00、各日2名

謝礼1名5,000円、園芸教室の補助もお願いします。

応募方法: 第一、第二希望日を記入のこと

園芸教室の場合は内容を明記の上

応募締切: 1月31日までに、AGN事務局へ多数の場合は調整させていただきます。

ありまふじCrewプログラム講座たなだ編が開講 たなだびとの募集

有馬富士公園の棚田周辺環境の保全を目的とした維持管理活動をしなが、来園者にむけてのプログラムを実施する人を募集します。

・募集人数: 20人

・対 象: 棚田で何かをしたい中学生以上の個人 (家族そろっての参加も可能)

・参加費: 無料

・締め切り: 2月4日(火)

・申込み方法: 住所、氏名、年齢、性別、電話・F

A X番号、「棚田でやってみたいこと」を明記し、往復はがき、またはFAXでお申し込みください。

・申込み・問合せ先: 〒669-1313 三田市福島1091-2 有馬富士公園パークセンター内「ありまふじCrewプログラム講座たなだ編」係 外山まで
TEL: 079-562-3040 FAX: 079-562-0084

・予定プログラム

2/9、16、3/2、16、4/13、20 棚田についての学習と棚田でするプログラムを考える。5月からは棚田での作業がスタート。